

# 令和5年度 出資団体評価シート

## 1 基本情報

団体名	(株)札幌リゾート開発公社	所管課	(経)観光・MICE推進課
基本財産	1,020,000千円	記入者	担当 澤田   電話 011-211-2376
設立年月日	昭和48年(1973年)6月28日	本市出資額	200,000千円 (出資割合 19.6%)
設立・出資目的	「札幌市長期総合計画」に基づき、昭和46年度から第1次5ヶ年計画として社会開発の推進のなか、環境破壊等から市民を守り豊かな市民生活を確立するため、自然を生かしたレクリエーション施設等の整備と温泉保養地としての定山溪地区の振興を目的として設立した。	出資年月日	昭和48年(1973年)12月4日
沿革		昭和48年 設立 昭和51年 豊平峡電気自動車開業 昭和53年 札幌国際スキー場開業 昭和57年 ていねプール開業(札幌市受託業務) 昭和60年 定山溪温泉スポーツ公園開業 平成13年 札幌市藤野野外スポーツ交流施設索道部門(札幌市受託業務) 令和2年 札幌市藤野野外スポーツ交流施設単独受託(札幌市受託業務)	
代表者	代表取締役社長(常勤) 熊谷 淳(市OB)		
主な出資者	① 札幌市 (19.6%) ② 日本政策投資銀行 (14.7%) ③ JTB (11.5%) ④ 日本カストディ銀行 (5.8%) ⑤ ⑥		
団体所在地	〒061-2301 札幌市南区定山溪937番地先		電話 011-598-4511

## 2 実施事業 (詳細については事業評価シート参照)

(1) [No.] [主要事業名] (該当ページ)	
[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]	
① ていねプール(手稲稲積公園内)の管理運営(6ページ)	② 札幌国際スキー場事業(7ページ)
ていねプール(手稲稲積公園)の指定管理者として、プールの維持管理、安全確保に関する業務を行う。	定山溪地区観光振興の一環として札幌国際スキー場の管理運営を行う。
③ 豊平峡電気自動車・レストハウス事業(8ページ)	④ Fu'sスノーエリア索道・コースの管理(9ページ)
豊平峡電気自動車・レストハウス事業の運営、受託事業を通じて魅力ある場所の提供に努める。	指定管理者として藤野野外スポーツ交流施設の索道・コース管理業務を行う。令和2年4月から単独で指定管理業者となり同施設の管理運営を行う。
⑤	⑥
⑦	⑧
(2) 総支出に占める事業支出割合 90.1% (主要事業支出合計 1,161,015千円 ÷ 総支出 1,289,175千円)	
(3) 主要事業の有効性 (出資・設立目的に対して事業効果は、十分出ているか)	
評価	<input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、札幌国際スキー場や豊平峡ダムの来場者数がR2年度以降大幅に減少したものの、地元客の誘客に向けて積極的に取り組むなど、定山溪地区の振興といった設立目的に寄与し、一定の効果が出ているところである。札幌市が推進するスノーリゾート推進戦略における中核的なスキー場として、さらに効果を高める余地があると認識している。
(4) 主要事業の質・量 (出資・設立目的の達成のために、必要十分な事業が実施されているか)	
評価	<input type="checkbox"/> 実施されている <input checked="" type="checkbox"/> 一部見直す必要がある <input type="checkbox"/> 実施されていない
理由	地元客誘客に向けた取組により、札幌国際スキー場の来場者は改善傾向にあり、出資・設立目的を達成するために必要な事業が実施されている。今後も、常に事業内容を検証の上、事業の拡充や改善を行うなど、売上やサービスの向上に努める必要がある。

## 3 団体職員・構成員等

令和5年4月1日現在(単位:人)

	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数	プロパー職員の年齢構成	役員任期	
役員					18	10歳代 0	40歳代 10	
常勤取締役	1	0	1	1		20歳代 0	50歳代 15	
常勤監査役	0	0	0	1		30歳代 8	60歳代 5	
非常勤取締役				12		平均年齢 49.1 歳		代表権のある役員 の就任年月
非常勤監査役				2		取締役	R5.4	
職員					100		監査役	R2.8
常勤管理職	0	0	8	0		職員総数の推移(人)		
常勤一般職	0	0	30	0		R03.4.1時点	116	
非常勤職員				62		R04.4.1時点	122	

#### 4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区 分		R3年度決算	R4年度決算	(経常収入比)	(前年比)		
財務状況	経常収入内訳	経常収入 (a+f)	1,002,836	1,302,007	(100.0%)	(+299,171)	
	損益計算書	営業	売上高 (a)	973,951	1,289,175		(+315,224)
			営業費用 (b)	999,438	1,152,438		(+153,000)
			うち販売費・一般管理費 (c)	996,813	1,145,784	(88.0%)	(+148,971)
			うち人件費 (d)	408,390	445,941	(34.3%)	(+37,551)
			営業利益 (e)	▲ 25,487	136,737		(+162,224)
		営業外	営業外収益 (f)	28,885	12,832		(▲ 16,053)
		当期純利益 (g)	▲ 18,832	146,180		(+165,012)	
	貸借対照表	資産 (h)	流動資産 (i)	724,216	875,983		(+151,767)
			固定資産 (j)	1,635,440	1,603,409		(▲ 32,031)
			負債 (k)	713,972	687,529		(▲ 26,443)
		流動負債 (l)	流動負債 (l)	206,580	252,393		(+45,813)
			固定負債 (m)	507,392	435,136		(▲ 72,256)
			純資産 (n)	1,645,682	1,791,863		(+146,181)
		資本金 (o)	1,020,000	1,020,000		(0)	
		借入金残高 (p)	446,300	367,700		(▲ 78,600)	

R4年度決算の概要	
区分	当期収入の増減、収支の状況、資産・負債の大幅な変動の要因等
a	新型コロナウイルス感染症による行動制限や外国人観光客の入国制限の緩和などにより旅行需要の回復が大きく影響している。また、主たる事業であるスキー場は、札幌国際スキー場、Fu's（藤野事業）共に、インバウンドや修学旅行、スキー学習などの入込が回復した。また、ていねプールが3年ぶりに営業再開したことで売上が大きく伸びた。
e, g	営業利益は136,737千円（前年度25,487千円の営業損失）と大幅に改善した。純利益も146,180千円と前期の赤字から一転し、大幅な黒字となった。
h, k, p	資産 (h) の増加は現預金が大幅に増加した。負債 (k, p) は借入金返済を滞りなく行った結果減少した。

※詳細は、別添の貸借対照表、損益計算書を参照。

#### 5 本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区 分	R3年度決算	R4年度決算	(前年比)
市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)
市委託料	154,813	148,484	(▲ 6,329)
市業務委託料	11,903	14,207	(+2,304)
うち随意契約	2,289	3,166	(+877)
市指定管理費	142,910	134,277	(▲ 8,633)
うち非公募	0	0	(0)
(参考) 再委託額			(0)
うち市業務委託分			(0)
再委託率			(0)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高			(0)
損失補償等限度額			(0)
損失補償契約等に係る債務残高			(0)
(参考) 市施設利用料金収入			(0)
うち非公募			(0)

## 6 財務指標に基づく評価

(金額単位：千円)

項目		R3年度	R4年度	(前年比)	評価基準	備考
(1)健全性	剰余金(n-o)	625,682	771,863	(+146,181)	前年比較増	正味財産-基本財産
	自己資本比率(n÷h)	69.7%	72.3%	(+2.5%)	≥50%	正味財産÷資産
	流動比率(i÷l)	350.6%	347.1%	(▲3.5%)	≥150%	流動資産÷流動負債
	固定比率(j÷n)	99.4%	89.5%	(▲9.9%)	≤100%	固定資産÷正味財産
	借入金依存度(p÷h)	18.9%	14.8%	(▲4.1%)	前年比較減	借入金残高÷資産
(2)生産性	職員一人当り経常収益	8,645千円	10,672千円	(+2,027千円)	前年比較増	経常収益÷職員総数
	人件費率(経常収益比)(d÷a)	41.9%	34.6%	(▲7.3%)	前年比較減	人件費÷経常収益
	職員一人当り管理費	8,593千円	9,392千円	(+798千円)	前年比較減	管理費等÷職員総数
	管理費率(経常収益比)(c÷a)	102.3%	88.9%	(▲13.5%)	前年比較減	管理費等÷経常収益
(3)自立性	市依存度(収入)	0.2%	0.2%	(+0.0%)	前年比較減	市収入(注1)÷経常収益
	市財政的関与割合(収入)	15.4%	11.4%	(▲4.0%)	前年比較減	市収入(注2)÷経常収益
健全性の評価		<input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 概ね健全 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い				
理由	健全性については、剰余金が前年度より増加している。また、自己資本比率や流動比率、固定比率など健全性を示す指標がすべて評価基準を満たしていることから、健全性は非常に高いと判断される。 生産性については、人件費率や管理比率が減少傾向にあり、良好であると判断される。 自立性については、市依存度が前年度と概ね同水準となっており、自立性の高い状態が保たれていると判断される。					

(注1)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料(随意契約分)+市指定管理費(非公募分)+市施設利用料金収入(非公募分)

(注2)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料+市指定管理費+市施設利用料金収入

## 7 「札幌市出資団体の在り方に関する基本方針」に基づく具体的な行動計画の評価

ここでは、具体的な行動計画(※1)で示した取組目標について、年度ごとの指標(※2)の達成状況とその評価を行う。

※1詳細については具体的な行動計画(別冊子)を参照

※2指標の実績値は各年度末時点のもの

### (1) 出資・出捐

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○出資団体としての在り方の検討						
①	市出資金	目標	200,000千円	200,000千円	200,000千円	
		実績	200,000千円	200,000千円	200,000千円	
		評価	達成	達成		
②		目標				
		実績				
		評価				
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						
-						

### (2) 人的関与

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○最低限の人的関与の継続						
①	市派遣職員数	目標	0	0	0	
		実績	0	0	0	
		評価	達成	達成		
②	役員の就任数(取締役)	目標	1	1	1	
		実績	1	1	1	
		評価	達成	達成		
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						
-						

### (3) 団体の活用

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○札幌国際スキー場の利用者増						
①	札幌国際スキー場の来場者数(人)	目標		206,511	269,000	269,000
		実績	198,171	206,626	237,047	
		評価		達成	未達成	
②	子どもを対象としたイベントの参加者数(親子DAY)(人)	目標		2,000	2,000	2,000
		実績	2,092	1,697	1,436	
		評価		未達成	未達成	
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						
①積雪不足による影響により、予定より14日遅くオープンとなり、集客に大きく影響した。今年度は、雪遊び広場の拡充を行うことでインバウンド需要の取り込みを行い、来場者の増加を見込む。 ②実施回数の見直しに加え、集客が見込まれる日程が悪天候であった。今年度は、積極的に情報発信を行うことにより集客に繋げる取り組みを実施する。						

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○豊平峡ダムを活用した定山溪地区の観光振興						
①	豊平峡ダム来場者数	目標		52,190	80,000	80,000
		実績	47,959	41,995	40,561	
		評価		未達成	未達成	
②	定山溪温泉街との連携事業(日帰り入浴パック)の利用者数	目標		2,300	3,100	3,200
		実績	1,923	2,268	2,487	
		評価		未達成	未達成	
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						
新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響に加え、9月の台風、10月の繁忙期は寒波の影響で紅葉の見ごろが例年に比べて短くなるなど、天候により入込客数に大きく影響した。今年度は、新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、インバウンド需要の回復による来場者の増加はもちろん、地元客への日帰り入浴パックのPR活動を強化する。						

### (4) 更なる経営の安定化

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○札幌国際スキー場における収益基盤の強化						
①	国際スキー場バック券販売数	目標		24,000枚	24,000枚	24,000枚
		実績	29,542枚	34,285枚	49,617枚	
		評価		達成	達成	
②	消費単価の対前年比	目標		99%	102%	102%
		実績	94%	113%	119%	
		評価		達成	達成	
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						
-						

### (5) 団体統制

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○社員の資質向上						
①	研修等の延べ受講人数	目標		100人	100人	100人
		実績	68人	103人	74人	
		評価		達成	未達成	
②		目標				
		実績				
		評価				
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						
新型コロナウイルスの影響により、参加研修数の減少及び参加者数の制限などにより未達成となった。今年度は、外部研修に参加することはもちろん、自社での研修を強化することで既存社員の育成に務める。						



# 事業評価 ( 1 ) ていねプール (手稲稲積公園内) の管理運営

1. 事業概要	事業所管課: 建設局みどりの推進部みどりの管理課	担当: 岩田	電話: 011-211-2536
(1) 事業内容	手稲稲積公園、維持管理及び運営 (園内の維持管理、管理事務、園内の安全確保に関する業務)		市指定管理費(公券) ****
(2) 事業目的	レクリエーション、スポーツ観光施設の開発及び管理運営を通じて札幌市民に健全な憩いの施設を提供する		
(3) 事業開始	昭和57年 (1982年) 7月		

## 2. 実施結果

(1) 事業収支 (単位: 千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		24,645 ( 2.5 % )	54,475 ( 4.2 % )	(+29,830)
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	10,408	12,967	(+2,559)	
	市施設利用料金収入	0	28,190	(+28,190)	
	自主事業収入 (補助金除く)	0	12,742	(+12,742)	
	その他収入	14,237	576	(▲13,661)	
費用 (支出)		16,140	62,546	(+46,406)	
	事業費	10,898	51,675	(+40,777)	
	管理費等	5,242	10,871	(+5,629)	
収支差		8,505	▲8,071	(▲16,576)	
収支比率		152.70%	87.10%	(▲65.60%)	
(2) 活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
① 低年齢層 (幼稚園・保育園) への営業活動			実施	実施済	実施
② 小中学校の児童・生徒へのチラシ配布		営業中止	実施	実施済	実施
③ 健康増進関連施設へのチラシ配布			実施しない	実施なし	実施
④					
⑤					
⑥					
(3) 成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
① 全プール利用者数 (人)			68,900	53,920	80,500
② 4歳以上中学生以下のプール利用者数 (人)		営業中止	26,700	31,643	48,300
③ 利用者満足度調査 (大いに満足、満足の比率)			100.0%	98.2%	100.0%
④					
⑤					
⑥					

## 3. 所管局による評価

(1) 事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年よりも営業期間を短縮したこと、また天候不順により運営はかなり厳しいものになったと思慮する。一方で、施設老朽化等の課題がある中、事故防止や衛生管理に努め、利用者からも高い満足度を得られていることを評価する。今後も適切な管理運営を続けるとともに、イベント等の実施により新規利用者獲得及び利用促進に努めていただきたい。
(2) 収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	自主事業収入の大幅減については、レストラン部門における売上計上方法が変更になったことが主な理由であるが、全体的な利用者数の底上げや管理費用の削減等により、収支状況の改善に努めていただきたい。

## 事業評価 ( 2 ) 札幌国際スキー場事業

1. 事業概要	事業所管課: 経済観光局観光・MICE推進部観光・MICE推進課	担当: 新谷	電話: 011-211-2376
(1)事業内容	札幌国際スキー場における、リフト・ゴンドラ運行・レストラン運営・各種スクール運営・用具のレンタル・休憩施設の提供・コース整備		
(2)事業目的	札幌圏におけるレクリエーション、スポーツ観光施設の開発及び管理運営を通じて札幌市民に健全な憩いの施設を提供すると共に定山溪地域に於ける振興策としてレクリエーション基地の開発を行う。		
(3)事業開始	昭和53年(1978年) 12月		

### 2. 実施結果

(1)事業 収支 (単位 千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		739,310 ( 73.7 % )	975,316 ( 74.9 % )	(+236,006)
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入(補助金除く)	708,764	957,399	(+248,635)	
	その他収入	30,546	17,917	(▲12,629)	
費用(支出)		748,531	806,292	(+57,761)	
	事業費	658,327	742,526	(+84,199)	
	管理費等	90,204	63,766	(▲26,438)	
収支差		▲9,221	169,024	(+178,245)	
収支比率		98.77%	120.96%	(+22.20%)	
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	会員組織(くるトククラブ)の組織強化(会員数)	15,848	16,200	15,819	16,500
②	集中レッスンの実施(参加者数)	2,934	3,650	3,225	3,650
③	シニアDAYの継続実施(参加者数)	7,710	8,200	4,616	5,000
④	他スキー場との連携(シーズンネット利用者数)	380	500	519	550
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	来場者数(人)	206,626	216,440	237,047	255,830
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

### 3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	R2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響により、道外からの修学旅行やインバウンド需要が激減するなど、来場者数が大きく減少していたが、R4年度シーズンはこれらが回復し、ニーズの高さが確認された。今後は、定山溪地区とも一層連携し、国内外の観光客に訴求するような魅力向上に取り組むことを期待する。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	新型コロナウイルス感染症の影響により、R2年度以降は売上が大きく減少していたが、R3年度から徐々に回復傾向にあり、R4年度は事業収入がさらに大きく改善した。

# 事業評価 ( 3 ) 豊平峡電気自動車・レストハウス事業

1. 事業概要	事業所管課: 経済観光局観光・MICE推進部観光・MICE推進課	担当: 岩淵	電話: 011-211-2376
(1)事業内容	豊平峡電気自動車・レストハウス事業の運営、受託事業として公園管理		市委託料(随意契約) ****
(2)事業目的	紅葉の名所として市民に親しまれている豊平峡において、豊平峡電気自動車・レストハウス事業を通じて市民の健康増進に寄与するとともに定山溪地区の観光振興を図る。		
(3)事業開始	昭和51年(1976年) 8月		

## 2. 実施結果

(1)事業 収支 (単位 千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		33,401 ( 3.3 % )	33,026 ( 2.5 % )	(▲ 375)
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	10,993	10,942	(▲ 51)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入(補助金除く)	21,109	21,888	(+779)	
	その他収入	1,299	196	(▲ 1,103)	
	費用(支出)	40,864	42,204	(+1,340)	
	事業費	29,326	30,345	(+1,019)	
	管理費等	11,538	11,859	(+321)	
	収支差	▲ 7,463	▲ 9,178	(▲ 1,715)	
	収支比率	81.74%	78.25%	(▲ 3.48%)	
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	ディケアサービス施設の来場促進	実施済	実施	実施済	実施
②	地元企業・団体等への販促	実施済	実施	実施済	実施
③	定山溪温泉、果樹園とのタイアップ設定	実施済	実施	実施済	実施
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	来場者数(豊平峡ダム・インバウンド含む)	41,995	43,600	40,561	44,700
②	インバウンド誘致(インバウンド来場者数)	0	0	0	1,500
③					
④					
⑤					
⑥					

## 3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、道外・海外からの団体客は大幅に減少し、来場者数についてはR3年度の実績を下回る結果となったが、地元利用の促進など、来場者の確保に向けた取り組みについては評価できる。 アフターコロナを迎え、今後は来場者数の回復が見込まれるため、引き続き、定山溪温泉や近郊の観光施設等と連携し、定山溪地区全体の観光振興を目的とした取り組みを実施していただくことを期待する。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、収支状況の悪化が継続している。アフターコロナを迎え、今後は来場客数及び売上げの増加が見込まれるため、可能な限りの経費節減については継続していただくとともに、収支状況の回復を目指していただきたい。

## 事業評価 ( 4 ) 藤野野外スポーツ交流施設の管理運営

1. 事業概要	事業所管課： スポーツ局スポーツ部施設課	担当： 谷内	電話： 011-211-3045
(1)事業内容	藤野野外スポーツ交流施設の管理運営に伴う、施設・設備維持管理業務、施設開放業務（利用料金制度）、スポーツ普及振興業務		市指定管理費(公券) 122,070
(2)事業目的	札幌圏におけるレクリエーション、スポーツ観光施設の開発及び管理運営を通じて札幌市民に健全な憩いの施設を提供する。		
(3)事業開始	平成13年(2001年)12月		

### 2. 実施結果

(1)事業 収支 (単位 千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		225,484 ( 22.5 % )	257,067 ( 19.7 % )	(+31,583)
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	119,510	122,070	(+2,560)	
	市施設利用料金収入	67,997	79,881	(+11,884)	
	自主事業収入(補助金除く)	33,906	43,097	(+9,191)	
	その他収入	4,071	12,019	(+7,948)	
	費用(支出)	233,931	249,973	(+16,042)	
	事業費	195,179	218,622	(+23,443)	
	管理費等	38,752	31,351	(▲7,401)	
	収支差	▲8,447	7,094	(+15,541)	
	収支比率	96.39%	102.84%	(+6.45%)	
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	営業日数	175	274	210	275
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	リフト輸送人員数	744,301	774,100	752,965	777,000
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

### 3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	令和4年度(2022/2023シーズン)については、積雪に恵まれず、12月19日に冬季営業を一部開始し、全面滑走可能となったのは12月28日であったが、新型コロナウイルス感染症が収束傾向にあったことや、オートゲートシステム導入等の取組により、営業日数及びリフト輸送人員数は昨年度上回る結果となった。今後も鉄道事業法に基づく安全な索道運行を実施するとともに、施設の利用者増加に繋がるよう、一層のサービス向上及び施設のPR等に努めることを期待する。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	利用料金収入及び自主事業収入等の増加、並びに管理経費等の削減により、事業収支は黒字となった。今後も利用者ニーズを踏まえた更なるサービス向上及び新たな顧客の開拓等により、安定した施設の管理運営に取り組んでいただきたい。

## 貸借対照表

令和5年5月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
<b>流動資産</b>	<b>875,982,573</b>	<b>流動負債</b>	<b>252,392,633</b>
現金及び預金	830,575,559	1年以内返済予定の	
売掛金	6,391,781	長期借入金	78,600,000
商品	781,057	未払金	39,389,991
貯蔵品	1,143,044	未払法人税等	31,690,700
前払費用	14,550,941	未払事業所得税	10,104,400
立替金	96,726	未払消費税等	49,501,900
未収入金	22,437,865	未払費用	906,656
仮払金	5,600	契約負債	14,341,069
		預り金	14,682,071
<b>固定資産</b>	<b>1,603,409,245</b>	前受収益	4,916,246
有形固定資産	(1,526,880,165)	賞与引当金	8,259,600
建物	727,982,837		
構築物	214,521,864	<b>固定負債</b>	<b>435,136,190</b>
機械装置	363,103,216	長期借入金	289,100,000
車輛運搬具	82,239,871	退職給付引当金	92,036,190
工具・器具・備品	34,727,329	資産除去債務	54,000,000
土地	101,105,048		
建設仮勘定	3,200,000		
無形固定資産	(27,436,220)	<b>負債合計</b>	<b>687,528,823</b>
電話加入権	1,412,402		
レンタル整備費	4,474,800	<b>(純資産の部)</b>	
ソフトウェア	21,549,018	<b>株主資本</b>	<b>1,791,862,995</b>
投資その他の資産	(49,092,860)	資本金	1,020,000,000
投資有価証券	28,000,000	利益剰余金	771,862,995
出資金	20,000	利益準備金	45,078,000
長期貸付金	1,940,000	その他利益剰余金	726,784,995
差入保証金	6,882,360	別途積立金	218,000,000
役員退職積立金	75,200	配当平均積立金	60,000,000
繰延税金資産	11,706,321	繰越利益剰余金	448,784,995
その他投資	468,979	<b>純資産合計</b>	<b>1,791,862,995</b>
<b>資産合計</b>	<b>2,479,391,818</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>2,479,391,818</b>

## 損 益 計 算 書

自 令和4年6月 1日

至 令和5年5月31日

(単位：円)

科 目	金	額
<b>売上高</b>		<b>1,289,174,925</b>
スキー場事業売上	957,398,794	
豊平峡事業売上	32,829,442	
ていねプール事業売上	53,898,680	
藤野事業売上	245,048,009	
<b>売上原価</b>		<b>6,654,018</b>
売上原価	6,654,018	
<b>売上総利益</b>		<b>1,282,520,907</b>
<b>販売費及び一般管理費</b>		<b>1,145,783,738</b>
販売費及び一般管理費	1,145,783,738	
<b>営業利益</b>		<b>136,737,169</b>
<b>営業外収益</b>		<b>12,832,013</b>
受取利息	109,426	
受取配当金	630,600	
雑収入	12,091,987	
<b>営業外費用</b>		<b>5,040,489</b>
支払利息	5,034,109	
雑損失	6,380	
<b>経常利益</b>		<b>144,528,693</b>
<b>特別利益</b>		<b>18,781,000</b>
固定資産売却益	1,500,000	
補助金	17,281,000	
<b>特別損失</b>		<b>3,556,718</b>
固定資産除却損	3,556,718	
<b>税引前当期純利益</b>		<b>159,752,975</b>
法人税、住民税及び事業税		25,279,266
法人税等調整額		△ 11,706,321
<b>当期純利益</b>		<b>146,180,030</b>